

令和 6 年度

東京都「革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」

「衣装ケース（粗大ごみ）の材料リサイクル」

報告書

令和 7 年 3 月

全日本プラスチックリサイクル工業会

令和6年度活動報告

(1) 東京都と連携した都内区市町村への情報発信

- ① 多摩市町村清掃主管課長会（令和6年7月23日） ※別紙1
- ② 23区清掃リサイクル主管課長会（令和6年8月19日） ※別紙2
- ③ 「今後の資源循環施策に関する区市町村と都との共同検討会」
令和6年度第10回勉強会 ※別紙3

(2) 令和6年度 衣装ケースリサイクル実績（トベ商事）

- ・ 6自治体と契約を締結
- ・ 約77トン自治体から回収
- ・ 約56トンを全日本プラスチック工業会会員企業に出荷

詳細は以下の通り。

令和6年度搬入実績

搬入・回収実績

- 延べ9自治体様と打ち合わせを実施。12月時点で6自治体様から搬入を受託。
- 回収実績は、約77,000kg・出荷実績は、約56,000kg となっております。

【2024年度（令和6年度）搬入実績】

自治体名	2024年/4月						2024年/5月						2024年/6月						Q1合計
	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	
A	100kg	100kg	100kg	100kg	100kg	500kg	200kg	100kg	100kg	100kg	100kg	600kg	100kg	100kg	100kg	100kg	100kg	500kg	1,900kg
B	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
C	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
D	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
E	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
F	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
																			1,900kg

自治体名	2024年/7月						2024年/8月						2024年/9月						Q2合計	Q3-2合計
	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	6,400kg	1,640kg
A	100kg	100kg	100kg	100kg	100kg	500kg	200kg	100kg	100kg	100kg	100kg	600kg	100kg	100kg	100kg	100kg	100kg	500kg		
B	700kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,100kg	3,000kg	100kg	100kg	100kg	100kg	3,300kg	100kg	100kg	100kg	100kg	100kg	300kg	6,100kg	6,100kg
C	1,100kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,500kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	1,100kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,400kg	4,370kg	4,370kg
D	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	1,100kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,400kg	3,210kg	3,210kg
E	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
F	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
																			15,320kg	17,310kg

自治体名	2024年/10月						2024年/11月						2024年/12月						Q3合計	Q3-3合計
	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	3,630kg	7,260kg
A	200kg	100kg	100kg	100kg	100kg	600kg	200kg	100kg	100kg	100kg	100kg	600kg	200kg	100kg	100kg	100kg	100kg	600kg		
B	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
C	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
D	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
E	1,300kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,600kg	1,200kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,500kg	1,000kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,300kg	5,780kg	5,780kg
F	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	2,200kg	2,200kg
																			26,600kg	46,010kg

自治体名	2025年/1月						2025年/2月						2025年/3月						Q4合計	Q3-4合計
	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	4,190kg	11,450kg
A	300kg	100kg	100kg	100kg	100kg	700kg	300kg	100kg	100kg	100kg	100kg	600kg	300kg	100kg	100kg	100kg	100kg	600kg		
B	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
C	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
D	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
E	1,300kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,600kg	1,200kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,500kg	1,000kg	100kg	100kg	100kg	100kg	1,300kg	7,990kg	17,770kg
F	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	3,380kg	5,580kg
																			36,120kg	77,030kg

以上

都資料 3-4

衣装ケースのリサイクルについて

- 昨年度（令和 5 年 7 月 27 日）の課長会において、衣装ケースリサイクルの実証実験（都事業：革新的技術・ビジネス推進プロジェクト）について、ご報告・ご相談をさせていただきました。
- その後、12 の自治体（多摩地域は、八王子市、国分寺市、府中市、小金井市、青梅市、多摩川衛生組合、柳泉園組合）の協力を得て実証実験を実施。令和 6 年 2 月に結果報告会を行い、衣装ケースを買い取ってリサイクルすることについて、事業者（全日本プラスチックリサイクル工業会・トベ商事）から自治体への提案をいたしました。
（※ 提案内容は次ページ）
- 本スキームを活用し、令和 6 年度から衣装ケースのリサイクルを開始した自治体は、以下のとおり。

23 区	荒川区（4 月）
多摩	小金井市（7 月）、国分寺市（7 月）、東村山市（7 月）

※ 八王子市、柳泉園組合等が、事業者と検討・調整中

- 衣装ケースは、「多く出される粗大ごみ」の第 4 位（23 区）。プラスチック対策という点では外せない品目でありながら、「容器包装／製品プラ」のどちらからも漏れてしまっているものです。

新たに衣装ケースのリサイクルに取り組むことに伴って費用負担が発生する場合には、区市補助（区市町村との連携による環境政策加速化事業）の活用も可能ですので、積極的なご検討をいただきたく、よろしくお願いいたします。

【参考】

令和6年2月「粗大ごみに含まれる衣装ケース回収実験報告会」資料抜粋

<提案>

全体のスキーム	- トベ商事が、自治体様から、一定の条件のもとに衣装ケースを買い取り - トベ商事は、衣装ケースの加工・保管等を行った後、プラスチックの再生原料として工業会会員に売却 - 工業会会員は、再生原料を使用して再生樹脂を製造 ※ 再生樹脂は、プラスチック製品の原材料として利用されます。
自治体様からトベ商事への衣装ケース引き渡し方法	- 自治体様が、自治体様施設（中継所、処理施設など）に保管した衣装ケースをトベ商事が回収 - 自治体様が手配する車両で、トベ商事に衣装ケースを搬入 - 自治体様が手配する車両で、工業会会員施設に衣装ケースを搬入
買取価格（想定）	0.5円/kg程度 10～15円/kg程度 20円/kg程度

<回収・買取の条件>

回収対象		衣装ケース（プラスチック製 ※ポリプロピレン）
	可	1段のものほか2段・3段などの多段もの、内側の透明部分＋外側の枠 - 汚れ・割れ・シール等の付着、腐れたものもOK - 色付き、キャスター付きもOK
	不可	✓ 衣装ケースではないもの（同じ素材でもカゴやバケツは対象外） ✓ 木製天板がのっているもの、引き出し内側に金属レールがあるもの ※ 「回収できないもの」、「引き出し内に残っているごみ」は、回収時に残させていただきます。
回収等の条件		
	1.	【回収回数】1回あたり、原則200個以上といたします。 ※ 200個以上が難しい場合は条件等を個別に相談の上移させていただきます。 【回収日時】回収日時は、トベ商事が調整させていただきます。当初は、定期的な巡回回収ではなく、自治体様のストック量を確認しながら設定する予定です。 【重量報告】自治体様施設で計量する場合は計量値、トベ商事で計量する場合は算分値とします。
	2.	【搬入先】トベ商事第4作業所（足立区入谷8-6-7） 【搬入日時】自治体様と調整の上、設定させていただきます。 【荷降ろし】ダンパアップ等により、ヤードに降ろしていただきます。 【重量報告】トベ商事で計量いたします。
	3.	【搬入先】別添のとおり 【搬入日時】自治体様と搬入先とで調整の上、設定させていただきます。 【荷降ろし】搬入先施設でフォーク等により、荷降ろしします。 【重量報告】別添のとおり

都資料 1-1

衣装ケースのリサイクルについて

- 昨年度（令和 6 年 3 月 8 日）の課長会で、都事業「革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」の一つである「衣装ケースのリサイクル」の実証実験結果についてご報告するとともに、衣装ケースを買い取ってリサイクルすることについて、事業者（全日本プラスチックリサイクル工業会・トベ商事）から自治体への提案について、ご紹介をいたしました。
（※ 提案内容は次ページ）

- 本スキームを活用し、令和 6 年度から衣装ケースのリサイクルを開始した自治体は、以下のとおりです。

23 区	荒川区（4 月）
多摩	小金井市（7 月）、国分寺市（7 月）、東村山市（7 月）

また、練馬区、八王子市、東村山市、柳泉園組合等が衣装ケースのリサイクルの実施を検討・調整中

なお、大田区、品川区、葛飾区、国立市、青梅市では、従来から独自に衣装ケースのリサイクルを実施

※ 上記は、東京都が把握している限りの情報

- 衣装ケースは、「多く出される粗大ごみ」の第 4 位（23 区）。プラスチック対策という点では外せない品目でありながら、「容器包装／製品プラ」のどちらからも漏れてしまっているものです。

新たに衣装ケースのリサイクルに取り組むことに伴って費用負担が発生する場合には、区市補助（区市町村との連携による環境政策加速化事業）の活用も可能ですので、積極的なご検討をいただきたく、よろしく願いいたします。

【参考】

令和6年2月「粗大ごみに含まれる衣装ケース回収実験報告会」資料抜粋

<提案>

全体のスキーム	◆ トベ商事が、自治体様から、一定の条件のもとに衣装ケースを買い取り ◆ トベ商事は、衣装ケースの加工・保管等を行った後、プラスチックの再生原料として工業会会員に売却 ◆ 工業会会員は、再生原料を使用して再生樹脂を製造 ※ 再生樹脂は、プラスチック製品の原材料として利用されます。
自治体様からトベ商事への衣装ケース引き渡し方法	1. 自治体様が、自治体様施設（中継所、処理施設など）に保管した衣装ケースをトベ商事が回収 2. 自治体様が手配する車両で、トベ商事に衣装ケースを搬入 3. 自治体様が手配する車両で、工業会会員施設に衣装ケースを搬入
買取価格（想定）	1. 0.5円/kg程度 2. 10～15円/kg程度 3. 20円/kg程度

<回収・買取の条件>

回収対象	衣装ケース（プラスチック製 ※ポリプロピレン）
可	● 1段のもののはか2段・3段などの多段もの、内側の透明部分＋外側の枠 ● 汚れ・割れ・シール等の付着、濡れたものもOK ● 色付き、キヤスター付きもOK
不可	✓ 衣装ケースではないもの（同じ素材でもカゴやバケツは対象外） ✓ 木製天板がついているもの、引き出し内側に金属レールがあるもの ※ 「回収できないもの」、「引出し内に残っていたごみ」は、回収時に残させていただきます。
回収等の条件	
1.	【回収個数】1回あたり、原則200個以上といたします。 ※ 200個以上が難しい場合は条件等を個別に相談の上検討いたします。 【回収日時】回収日時は、トベ商事が調整させていただきます。当初は、定期的な巡回回収ではなく、自治体様のストック量を確認しながら設定する予定です。 【重量報告】自治体様施設で計量する場合は計量値、トベ商事で計量する場合は案分値とします。
2.	【搬入先】トベ商事第4作業所（足立区入谷8-6-7） 【搬入日時】自治体様と調整の上、設定させていただきます。 【荷降ろし】ダンプアップ等により、ヤードに降ろしていただきます。 【重量報告】トベ商事で計量いたします。
3.	【搬入先】別添のとおり 【搬入日時】自治体様と搬入先とで調整の上、設定させていただきます。 【荷降ろし】搬入先施設でフォーク等により、荷降ろしします。 【重量報告】別添のとおり

今後の資源循環施策に関する区市町村と都との共同検討会
令和6年度 第10回勉強会

衣装ケースのリサイクルについて With 宮城県の皆さま

令和6年12月10日（火） 14:00 – 15:30 Zoomミーティング

本日のプログラム

※質疑応答は「各発表後」及び「最後」に行います。
どしどしお寄せください。
※環境省、横浜市からもご参加いただきます。

（1）取組紹介

葛飾区 環境部 リサイクル清掃課 計画調整係 様
荒川区 環境清掃部 清掃リサイクル推進課 啓発指導係 様
練馬区 環境部 清掃リサイクル課 計画調整係 様
国立市 生活環境部 ごみ減量課 清掃係 様
国分寺市 建設環境部 環境対策課 清掃施設係 様
東村山市 環境資源循環部 施設課 様
八王子市 資源循環部 戸吹クリーンセンター 様

（2）衣装ケースリサイクルの状況について

全日本プラスチックリサイクル工業会 様 / 株式会社トベ商事 様

（3）宮城県における取組

宮城県 環境生活部 循環型社会推進課 様

（4）東京都から情報提供 など

2024年12月

衣装ケースのリサイクル



これまでの経緯

多く出される粗大ごみ（令和4年度）

第1位 ふとん 976,992枚 	第2位 箱物家具 785,869個 	第3位 いす（ソファー含む） 734,382個 	第4位 衣 装 箱 414,142個 
---	--	--	---

ごみレポ23（2023追録版）
東京二十三区清掃一部事務組合



東京都内全体では、約60万個／年

プラスチック対策という点では外せない品目でありながら、
「容器包装／製品プラ」のどちらからも漏れてしまっています。

0. これまでの経緯

R6.2.19
衣装ケース報告会資料

東京都「革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」衣装ケース（粗大ごみ）の材料リサイクル

「衣装ケース（粗大ごみ）の材料リサイクル」は、
「革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」の採択事業(R4,5)です。

＜2023年11月1日報道発表＞

東京都は、プラスチックの持続可能な利用に向けて、リユース等により使い捨てプラスチックの削減を図るビジネスモデルや、水平リサイクル等の高度なリサイクル技術の実装化を目指すプロジェクトを事業者と共同で行っています。

■ 事業主体

全日本プラスチックリサイクル工業会

（会長：磯野 正幸（いその株式会社代表取締役社長）、代表事業者：石塚化学産業株式会社、いその株式会社、進栄化成株式会社、高六商事株式会社）

■ 参画団体・企業

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、株式会社トベ商事

■ 事業内容

自治体が回収する粗大ごみに含まれる衣装ケースを効率的に回収し、材料リサイクルする仕組みについて実証事業を行う。23区・多摩地域の実情に応じた実証実験を行い、輸送コストの低減や効率的な回収の仕組み等を検証する。

1. 衣装ケース回収実験結果（速報）のご報告

【事業者サイドの考察】

方式	考察	イメージ
(1) 事業者 回収	✓ 大きな保管スペースに、多くの衣装ケースを保管いただける自治体あり ✓ 保管能力が大きな自治体を「核」とすることで、効率的に回収できる可能性あり ✓ 事業採算性はギリギリ	保管量が2tに達した時点で巡回回収
(2) 自治体 運搬	✓ 受入はスムーズ、搬入後のオペレーションも問題なし ✓ 事業採算性確保可能な見通し	自治体の都合の良い時に運搬

2つの方式を組み合わせることにより、より多くの衣装ケースをリサイクルできるのではないかな？

2024年2月

衣装ケースのリサイクル ＜ご提案＞

全日本プラスチックリサイクル工業会・(株)トベ商事

担当者：(株)トベ商事 営業管理部営業2課 高橋 / 社長室 富岡
連絡先 03-5902-3202 / customer@tobeshoji.co.jp

自治体様へのご提案

トベ商事が、自治体様から、一定の条件（後述）のもとに、衣装ケースを買い取らせていただきます。

全体のスキーム	◆ トベ商事が、自治体様から、一定の条件のもとに衣装ケースを買い取り ◆ トベ商事は、衣装ケースの加工・保管等を行った後、プラスチックの再生原料として工業会会員に売却 ◆ 工業会会員は、再生原料を使用して再生樹脂を製造 ※ 再生樹脂は、プラスチック製品の原材料として利用されます。
自治体様からトベ商事への衣装ケース引き渡し方法	1. 自治体様が、自治体様施設（中継所、処理施設など）に保管した衣装ケースを<u>トベ商事が回収</u> 2. <u>自治体様</u>が手配する車両で、<u>トベ商事に衣装ケースを搬入</u> 3. <u>自治体様</u>が手配する車両で、<u>工業会会員施設に衣装ケースを搬入</u>
買取価格（想定）	1. 0.5円/kg程度 2. 10～15円/kg程度 3. 20円/kg程度

現在の状況

<2023年>
5自治体で実施



品川区、大田区、葛飾区、青梅市、国立市は従来から実施

<現在>
12自治体で実施



品川区、大田区、葛飾区、青梅市、国立市に加えて、新たに、
荒川区、練馬区、八王子市、小金井市、日野市、東村山市、国分寺市が開始

本日のプログラム

※質疑応答は「各発表後」及び「最後」に行います。
どしどしお寄せください。

※環境省、横浜市からもご参加いただきます。

コメントも
いただきます

(1) 取組紹介

葛飾区 環境部 リサイクル清掃課 計画調整係 様
荒川区 環境清掃部 清掃リサイクル推進課 啓発指導係 様
練馬区 環境部 清掃リサイクル課 計画調整係 様
国立市 生活環境部 ごみ減量課 清掃係 様
国分寺市 建設環境部 環境対策課 清掃施設係 様
東村山市 環境資源循環部 施設課 様
八王子市 資源循環部 戸吹クリーンセンター 様

(2) 衣装ケースリサイクルの状況について

全日本プラスチックリサイクル工業会 様 / 株式会社トベ商事 様

(3) 宮城県における取組

宮城県 環境生活部 循環型社会推進課 様

(4) 東京都から情報提供 など

衣装ケース等のリサイクル実施状況

葛飾区

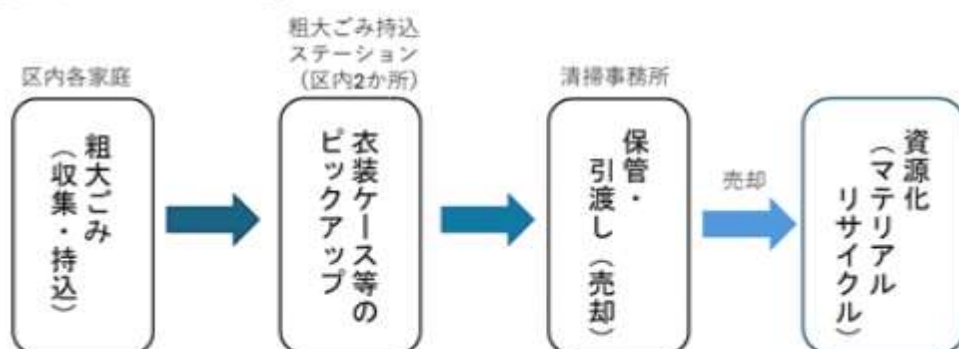
環境部 リサイクル清掃課 北川深幸

導入の経緯

- 開始時期
令和5年11月
- 導入した経緯・理由
プラスチックの資源循環の促進
粗大ごみ最終処分量の削減
- 契約方法
売却契約

実施の状況①

【事業スキーム】



【実績】

令和5年度実績 7, 527kg (11月～3月)

令和6年度実績 7, 318kg (4月～8月)

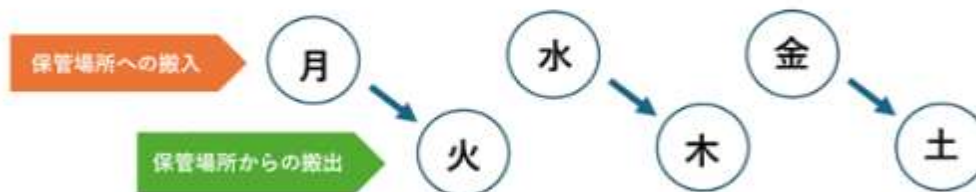
実施の状況②



区内2か所の粗大ごみ持込ステーションからピックアップした衣装ケース等を保管場所（清掃事務所敷地内）に週3回搬入



搬入の翌日に売却先へ引き渡し



結果

- 導入してよかったこと・メリット
 - プラスチックの資源循環の促進
 - 粗大ごみ最終処分量の削減
- 工夫した（している）こと
 - 保管場所を広く確保できないため、売却先への引渡しをこまめに行っている
- 課題
 - 売却の際、引渡しできず資源化不適物として粗大ごみ持込ステーションへ逆送されるものが一定量あるため、ピックアップ回収の精度を上げていくことが課題

衣装ケースのリサイクル実施状況

東京都荒川区

環境清掃部 清掃リサイクル推進課
啓発指導係 芦川

導入の経緯

● 開始時期

- ・ 令和 6 年 4 月～現在実施中

● 導入した経緯・理由

- ・ 粗大ごみ焼却量の削減
- ・ 試行実施中のプラスチック回収車両の有効活用

● 契約方法

- ・ 株式会社トベ商事へ売却契約（区が雇上車両で持込み）

実施の状況①

●回収から持込みまでの流れ

- ①粗大ごみとして衣装ケースを回収
- ②衣装ケースのみ別の置き場に下ろす
- ③週1回車両に積込み・持込み

※②・③で対象外のもの（木や金属を使用しているもの）を除外する。

粗大シールをはがす作業はなし。



衣装ケース保管場所



積込み作業の様子①



積込み作業の様子②

実施の状況②

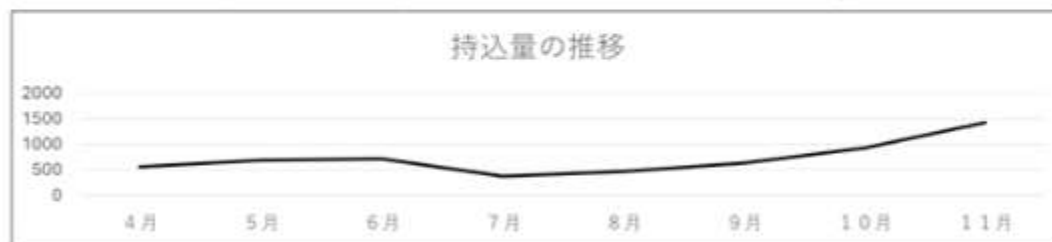
●売却実績（令和6年4月～11月（8か月分））

持込量：5,820kg

個数：2,543個（1個当たり2.3kgで計算）

売却金額：64,020円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
持込量 (kg)	560	690	720	380	470	640	930	1,430	5,820



結果

- 導入してよかったこと・メリット
 - ・持込量＝粗大ごみ焼却量の削減ができたこと
 - ・プラスチック回収と併せて情報発信することで、区のプラスチック回収への取組みに対する区民の共感を得られていること。
- 工夫していること
 - ・作業日を週1日にして、経費を明確にしていること
- 課題と対策
 - ・今は小型特殊車を使用しているが、プラスチック回収の区内全域開始に合わせて、使用する車両を軽小型貨物車に変更し、経費をおさえる予定。

衣装ケースのリサイクル実施状況

練馬区

清掃リサイクル課計画調整係
横田・佐々

導入の経緯

● 開始時期

令和6年10月28日（月）

● 導入した経緯・理由

- ・粗大ごみ量の削減
- ・資源化率の増

● 契約方法

白井エコセンター株式会社と売却契約

実施の状況①



実施の状況②



結果

- 導入してよかったこと・メリット
粗大ごみ量の削減（8.4 t（11月実績））
- 工夫した（している）こと
ふとんを搬出している車両を活用
- 課題
想定（月 5 t）以上の量が出ている
→車両の運用の仕方の再検討

衣装ケースのリサイクル実施状況

東京都国立市

生活環境部ごみ減量課

吉村 知高

導入の経緯

● 開始時期

平成20年度以前（詳細不明）

● 導入した経緯・理由

- 資源化率の向上を行うため
- 循環型社会の形成を進めるため

● 契約方法

随意契約による買取

実施の状況①



実施の状況②



結果

● 導入してよかったこと・メリット

焼却することなくリサイクル資源として売却していることから、循環型社会形成の一助となっている。
総資源化率の向上

● 工夫した（している）こと

業者が取りにくる場合は、高額な料金が発生することから近隣市にないことから、事業者のある埼玉県まで搬送していることで安く引き取ってもらえている。

● 課題

距離が遠く、一日に1往復しかできない。近隣であるといふと考える。

衣装ケースのリサイクル実施状況

国分寺市

建設環境部環境対策課 鳥生

導入の経緯

- 開始時期

令和6年7月

- 導入した経緯・理由

粗大ごみ焼却量及び処理費用の削減

- 契約方法

株式会社 トペ商事様との物品売却契約

実施の状況①



結果

● 導入してよかったこと・メリット

4か月で約8t、毎月1,000円程度の収入だが、処理した場合はその数倍の処理費用が掛かるため、費用的なメリットが大きい。

● 工夫した（している）こと

粗大ごみ展開スペースより、衣装ケース貯留箇所までの距離があるため、運搬には鉄箱に収納後フォークリフトにて場内運搬を行っている。

● 課題

場所を取ってしまうため、今後は衣装ケースのみを破砕し、フレコンバックに貯留するなどの検討が必要と思われる。

衣装ケースのリサイクル実施状況

東村山市

環境資源循環部施設課長・濱田

導入の経緯

- 開始時期

令和6年7月

- 導入した経緯・理由

- ・ 製品プラスチックの資源化
- ・ 不燃ごみ処理費用の削減

- 契約方法

- ・ 株式会社トベ商事と特命随意契約
- ・ 1キログラムあたり0.5円

実施の状況



実施の状況



結果

- 工夫していること
屋外ストックヤードでストックしているため
風により園内に飛散してしまっていた
→ 飛散防止のために木製パレットで柵を設置



結果

● 導入の効果

毎月1トン超の回収量

→約12トン/年の不燃ごみの削減



不燃ごみストックヤード

衣装ケースのリサイクル実施状況

資源循環部 戸吹クリーンセンター

㊤ 八王子市

担当者 森屋



導入の経緯

● 開始時期

令和6年10月（9月より保管し始めました）

● 導入した経緯・理由

経緯：令和5年度に東京都の「革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」に参加し、衣装ケースからの材料リサイクルの実証実験を実施した。

理由：粗大ごみ焼却量の削減と資源化

● 契約方法

株式会社トベ商事 と 買い取り契約
月2回の搬出（隔週）

実施の状況①



実施の状況②



実施の状況③



実施の状況④



12月6日 保管状況
一段ケース 466個
多段ケース 184個
合計 650個

参考：搬入数量（八王子市人口56万人、世帯数 28万世帯）

	一段ケース	多段ケース	合計
9月	654個	132個	786個
10月	806個	155個	961個
11月	774個	143個	917個

結果（まとめ）

● 導入のメリット

粗大ごみの焼却量の減少と資源化量の増加

●工夫していること

●保管場所の高さやラインを2mごとに引き保管時の目安とし、搬出作業時の衣装ケースの荷崩れなどの抑制と整理整頓を行っている。

●個数を集計し保管量の把握をしている。

●課題

衣装ケースの保管場所や運搬に関する効率化

あなたのみちを、
あるけるまち。



⊗ 八王子市

衣装ケースのリサイクル実施状況

全日本プラスチックリサイクル工業会

副会長 進藤 浩

(進栄化成㈱代表取締役)

導入の経緯

● 開始時期

東京都環境局様と令和4年度、令和5年度の実証事業として実施（全日本プラスチックリサイクル工業会 4社が参加）

● 導入した経緯・理由

粗大ごみとして焼却されているプラスチック（ポリプロピレン）製の衣装ケースを単体で回収することで、品質の良いリサイクル原料として活用できないかとの相談を受けて。

● 契約方法

東京都の実証事業として採択されて実施

実施の状況① 回収～前処理



衣装ケース置き場



破 碎



破碎された衣装ケース
⇒リサイクル会社が引き取り

実施の状況② リサイクル原料（ペレット）製造



粉碎：より細かくする



洗浄：表面の汚れを落とす



再生原料：ペレット



押出し：高温で熔融

実施の状況③ 物性の測定と最終製品



物性測定



再生原料を使用した製品
(例：自動車用エンジンアンダーカバー)

実施の状況④ 再生原料の均一性

表 2-11. 物性データ（第1回衣装ケース回収品）

項目	試験方法	試験条件	単位	試験条件								
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
引張り強度	JIS Z 1213	JIS K 7201-2014	23℃ 5.0kgf/cm ² 圧力	g/10mm	27.9	32.1	32.3	31.2	31.9	34.1	35.0	24
比重	JIS Z 1881	JIS K 7112-1999	23℃	g/cm ³	0.90	0.90	0.9	0.9	0.91	0.90	0.90	0.905
引張弾性率	JIS Z 127	JIS K 7101-2014		MPa	26.8	27.5	28.4	26.2	27.4	27.6	27.4	28
引張伸び	JIS Z 127		引張強度 2000N/m ²	%	—	—	—	—	—	—	—	1.905
引張伸び(引張率)	JIS Z 127-1	JIS K 7101-1		%	—	—	1.20	1.40	1.0	1.05	1.0	—
引張伸び率	JIS Z 127-1	JIS K 7101-1	引張強度 2000N/m ²	MPa	—	—	1220	1230	—	—	—	—
引張伸び率(引張率)		JIS K 7101-2014	%	引張率 2000N/m ² (引張強度)	26.8	27.5	—	—	—	—	—	—
引張伸び率	JIS Z 178	JIS K 7111-2008	引張強度 2000N/m ²	MPa	23.4	24.2	25.1	24.4	27.5	27.4	27.0	23
引張伸び率	JIS Z 178	JIS K 7111-2008			1120	1200	1210	1180	1241	1211	1180	1175
引張伸び率(引張率)	JIS Z 178-1	JIS K 7111-1	引張率 23℃ 10.0N/m ²	MPa	—	—	5.7	5.9	6.4	7.2	6.4	6.3
引張伸び率(引張率)		JIS K 7111-2008		MPa	6.2	4.9	—	—	—	—	—	—
引張伸び率(引張率)	JIS Z 178-2	JIS K 7111-2	引張率 23℃ 10.0N/m ²	%	—	—	9.7	9.6	—	—	—	—
引張伸び率(引張率)	JIS Z 178	JIS K 7111-1	引張率 23℃ 10.0N/m ²	%	—	—	99	99	—	—	—	74
引張伸び率			引張率	MPa	92.0	92	92	94.8	—	—	—	—
			引張率	MPa	11.5	14.9	11.5	11.9	—	—	—	—
			引張率	MPa	5.2	5.2	5.0	5.0	—	—	—	—
			引張率	MPa	92	92	92	92	—	—	—	—
			引張率	MPa	92	92	92	94	—	—	—	—
引張伸び率(引張率)			引張率 23℃ 10.0N/m ²	%	—	—	97.5	97.5	—	—	—	—

※引張強度（引張率）は、引張強度（引張率）の平均値を示す。
※引張伸び率（引張率）は、引張伸び率（引張率）の平均値を示す。
※引張伸び率（引張率）は、引張伸び率（引張率）の平均値を示す。

8ロット計測してもほぼ変わらない機械物性を示した
⇒製品を成形する際に安定していて使いやすい

結果

導入してよかったこと・メリット

大きさや種類の異なる衣装ケースをリサイクルしても
ほぼ変わらない機械物性になり、原料として価値が
あることが分かった。

工夫した（している）こと

ただの再生PP原料として販売するのではなく、いわゆる
「衣装ケース再生原料」としてブランド価値を持たせる

課題

- ①キャスターやレールなどの金属異物を効率よく除去すること。
- ②回収業者と協力して回収スキームを確立すること。

2024年12月

衣装ケースリサイクル についてご報告・ご提案

(株)トベ商事

担当者：(株)トベ商事 営業管理部営業2課 高橋 / 法務業務管理課 富岡
連絡先 03-5902-3202 / customer@tobeshoji.co.jp

今年度実施状況のご報告（全体スキーム・引き渡し方法・買取価格）

全体のスキーム	- トベ商事が、自治体様から一定の条件のもとで衣装ケースを買い取り（有価物） - トベ商事は、衣装ケースの加工後、プラスチックの再生原料として全日本プラスチックリサイクル工業会会員に売却 - 工業会会員は、再生原料を使用して再生樹脂を製造 ※ 再生樹脂は、プラスチック製品の原材料として利用されます。
自治体様からトベ商事への衣装ケース引き渡し方法	【トベ商事回収】自治体様施設（中継所、処理施設など）に保管された衣装ケースをトベ商事が回収 【自治体トベ商事搬入】自治体様が手配する車両で、トベ商事に衣装ケースを搬入 【自治体工業会搬入】自治体様が手配する車両で、工業会会員施設に衣装ケースを搬入
買取価格	【トベ商事回収】0.5円/kg 【自治体トベ商事搬入】10円/kg 【自治体工業会搬入】20円/kg程度

今年度実施状況のご報告（回収・買取の条件）

回収・買取対象		衣装ケース（プラスチック製 ※ポリプロピレン）
	可	○ 1段のもののほか2段・3段などの多段もの、内側の透明部分＋外側の枠 ○ 汚れ・割れ・シール等の付着、濡れたものもOK ○ 色付き、キャスター付きもOK
	不可	× 衣装ケースではないもの（同じ素材でもカゴやバケツは対象外） × 木製天板がついているもの、引き出し内側に金属レールがあるもの ※ 「回収できないもの」、「引き出し内に残っていたごみ」は、引き取らない。
回収・買取の条件		
	【トベ商事回収】	【回収個数】1回あたり、原則200個（概ね500kg）以上 ※ 200個以上が難しい場合は条件等を個別に相談の上検討 【回収日時】回収日時は、トベ商事が調整。現在、月2回の定期回収を実施 【重量報告】自治体様施設で計量する場合は、自治体様台貫計量値 トベ商事で計量する場合は案分値（今までのところ実施例なし）
	【自治体トベ商事搬入】	【搬入先】トベ商事 第4作業所（足立区入谷8-6-7） 【搬入日時】自治体様と調整の上、設定 【荷降ろし】クレーン等により、ヤードに降ろしていただく。 【重量報告】トベ商事台貫で計量
	【自治体工業会搬入】	【搬入先】別途工業会会員様と協議 【搬入日時】別途工業会会員様と協議 【荷降ろし】別途工業会会員様と協議 【重量報告】別途工業会会員様と協議

回収できないもの

■ 木製天板付き、金属レール付き



■ 衣装ケースではないもの

※同一素材（ポリプロピレン）だが、対象を明確にするため除外



■ レターケース等、衣装ケースではないもの

※異素材であるため除外



※上記条件については令和7年度も継続を予定しております。

今年度搬入実績（2024年11月まで）

搬入・回収実績

- これまでのところ、延べ9自治体様と打ち合わせを行い、11月までに5自治体様からの搬入を受けており、12月からもう1自治体様が増えるという状況
- 回収実績は、自治体様搬入とトベ商事回収（15回実施）を合わせて、約35,000kg
出荷実績は、約25,000kg
となっております。

【2024年度（令和6年度）搬入実績】

2024年 8月						2024年 9月						2024年 10月						Q1合計
1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	
A	0 kg	0 kg	240 kg	210 kg	0 kg	450 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	1,990 kg
B	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
C	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
D	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
E	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
F	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
																		1,990 kg

2024年 7月						2024年 8月						2024年 9月						Q2合計	Q1-2合計
1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計		
A	0 kg	0 kg	240 kg	210 kg	0 kg	450 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	1,990 kg	1,990 kg
B	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
C	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
D	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
E	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
F	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
																		15,320 kg	17,310 kg

2024年 10月						2024年 11月						2024年 12月						Q3合計	Q1-3合計
1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計	1	2	3	4	5	月合計		
A	0 kg	0 kg	240 kg	210 kg	0 kg	450 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	1,990 kg	3,980 kg
B	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
C	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
D	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
E	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
F	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
																		17,310 kg	34,620 kg

現場の声

回収部門

1. 1〜2ヶ月すると排出量が落ち着くのではと想像していたが、全箇所減らないことに驚く。不思議と同じ回収先でも全然減っていない。こんなにも世の中に衣装ケースがあるんだという印象を受けた。
2. 回収時バリバリ割れるので飛散させないことに注意を払っている。
3. 置き場が外の場合、雨水が溜まりそれを空けるとところからになるので、通常より時間を要する。
4. 初めての冬季をこれから迎えるので、凍るのではないかと心配している。
5. 同じ衣装ケースでも、割れて粉々になる物とひしゃげてどうやっても割れない物がある。

処理部門

1. 作業担当が、よく対応・作業を行っており、大きな問題はない。
2. 補強フレーム、レールの金属等が異物として混入していることは問題点としてある。

次年度の方針

次年度の回収について

- 全体のスキーム：自治体様→（有価物）→トベ商事→全日本プラスチックリサイクル工業会会員
- 引き渡し方法：トベ商事回収・自治体トベ商事搬入・自治体工業会搬入
- 買取価格：トベ商事回収 0.5円/kg
自治体トベ商事搬入 10円/kg
自治体工業会搬入 20円/kg程度

今年度と同様の形式で継続する予定です。

次年度からということでお声がけも頂いております。

ご相談・ご見学などについては、営業管理部営業2課 高橋 / 法務業務管理課 富岡

（連絡先 03-5902-3202 / customer@tobeshoji.co.jp）までよろしくお願い致します。



宮城県3R推進市町村等支援事業 ワークショップについて



宮城県環境生活部循環型社会推進課
総括技術補佐 杉山 照徳

本日の説明概要

1. 3R推進市町村等支援事業ワークショップ
2. CEに関する検討テーマ
3. 効果・成果と今後の展望

本日の説明概要

1. 3 R 推進市町村等支援事業ワークショップ
2. CE に関する検討テーマ
3. 効果・成果と今後の展望

3 R 推進市町村等支援事業ワークショップ

【事業開始】 平成15年度（※平成23年度は東日本大震災の影響により実施見送り）

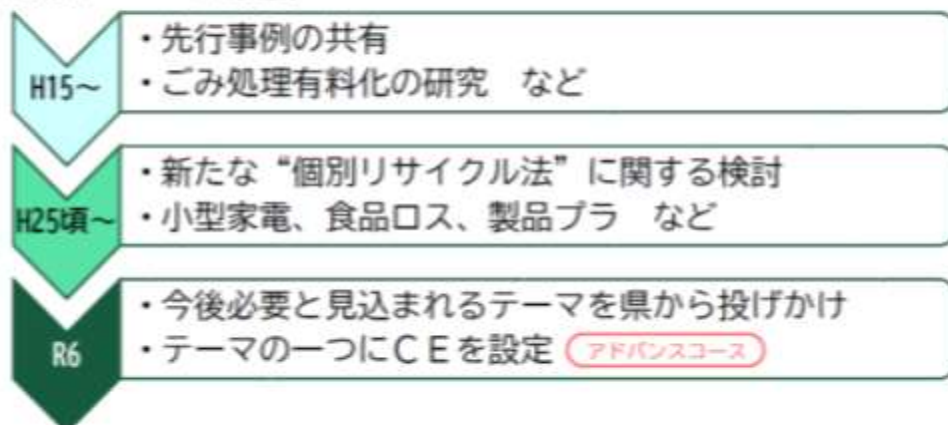
【目的】 県内市町村等の一般廃棄物対策への支援として、**参加者が主体となって**調査活動、企画提案、実現のための仕組みの検討などの**協同作業**をワークショップ（WS）形式で行うことにより、**情報交流**の推進を図るもの。

【参加者】 県内市町村（35）、一部事務組合（6）、保健所（6）の担当者

【概要】 ① 年度ごとにテーマ設定（3件程度）、希望を踏まえグループ分け
② 年間4回程度のWSでグループごとにテーマについて討議・検討・とりまとめ
③ 市町村担当課長会議の場で、とりまとめ結果を発表

3 R 推進市町村等支援事業ワークショップ

【検討テーマの変遷】



3 R 推進市町村等支援事業ワークショップ

【近年の検討テーマ】

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
令和6年度	サーキュラーエコノミー (C E) の検討 (アドバンスコース)	ごみの分別徹底と効果的な 周知(外国人居住者等への 対応)	粗大ごみのリユースの推進 対応
令和5年度	プラスチックの分別収集 (リチウムイオン電池の混 入防止)	資源物の分別や回収方法の 検討(紙ごみ回収)	不法投棄対策 (多発地点での対策)
令和4年度	ごみの減量・資源化 (コロナ禍の影響)	廃プラスチックの分別収集 (容リプラ・製品プラ)	不法投棄対策 (有効な防止対策)

本日の説明概要

1. 3R推進市町村等支援事業ワークショップ

2. CEに関する検討テーマ

3. 効果・成果と今後の展望

CEに関する検討テーマ

□ サークュラーエコノミー（CE）の検討（令和6年度Aグループテーマ）

□ 検討の概要（第3回まで）

➤ 第1回（R6. 7. 22開催）

- ・ CEに関する認知度・浸透度が低い
- ・ 自治体で取組可能な具体案として、プラ製品を中心としたCEの取組を検討
- ・ CEの取組を自治体単独で行うのは困難。広域化などを視野に検討

➤ 第2回（R6. 8. 27開催）

- ・ プラ回収においては、異物や汚れのあるプラの混入が課題
- ・ 県内のポテンシャル（潜在的な再資源化量）把握のため、市町村・一組アンケートを実施する
- ・ 先進事例を調べ、事業実施に対するコストや課題についても引き続き検討していく

➤ 第3回（R6. 11. 7開催）

- ・ 市町村・一組への「プラスチック類のポテンシャルに関するアンケート」の結果を共有
- ・ プラごみリサイクルの先進事例（川崎市の海洋プラごみリサイクル、東京都の衣装ケースリサイクル、環境省先進的モデル形成支援事業など）を確認
- ・ 課長会議での発表に向け、プラ製容器包装の分別収集上の課題を調べ、次回の討議内容とする



CEに関する検討テーマ

□ 取りまとめの方向性（見込み）

- プラのリサイクル対象として**衣装ケースは有望**
⇒アンケートにより推計した県内発生量 210 t/年間
- 県内で**広域的な収集**に取り組めないか
⇒将来のごみ処理広域化に向けた第一歩？
- 主な課題は、**分別基準、排出方法、コスト**
⇒広域化に向けたルール統一化？

- 第4回（R6.12.19予定）において発表内容の取りまとめ
- 市町村担当課長会議（R7.1.29予定）の場での検討結果発表

□ 検討結果を活かした今後の取組（案）

- 県内市町村の参加ニーズを確認の上、県内での広域的な衣装ケース収集の実施に向け、パートナーとなり得る企業との調整を図る



本日の説明概要

1. 3R推進市町村等支援事業ワークショップ
2. CEに関する検討テーマ
3. 効果・成果と今後の展望



効果・成果 (3R推進市町村等支援事業ワークショップ)

【効果】

- 市町村担当者同士の横のつながりの創出・強化
- 経験の浅い保健所担当者が廃棄物行政現場の知見を得る機会
- 県担当者のファシリテーション能力向上

【成果】

- R5 リチウムイオン電池の混入防止啓発チラシ
- R2 紙ごみ（雑紙等）の資源化率向上
(→雑紙回収袋の作成)
- H30 生ごみ減量化の取組
(→紙製水切り袋の作成)



紙製水切り袋



雑紙回収袋



リチウムイオン電池混入防止啓発チラシ

課題と今後の展望 (3R推進市町村等支援事業ワークショップ)

【課題】

- 分別徹底や不法投棄など、テーマ設定がマンネリ化しがち
- やりっぱなしとなり、市町村の実務において活用されないことも多い

【今後の展望】

- 市町村等のニーズは踏まえながらも、県が国の動きや全国の先駆的な事例について情報収集・研究し、社会経済動向に合わせたテーマを特に意識しながら設定していく
- 市町村等の担当者が主体的に議論した検討結果について、積極的に周知するとともに、横展開や取組機運の醸成などを図っていく

御清聴 ありがとうございました



東京都から情報提供

エコプロ2024の東京都ブースで、
衣装ケースリサイクルの
パネルを展示しました。
(12/4~6@東京ビッグサイト)

1

衣装ケース(箱大ごみ)の材料リサイクル/
全日本プラスチックリサイクル工業会・
トベ商事・プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

リサイクル法の対象からもれている「衣装ケース」

従来からリサイクルが行われている「資源包装プラスチック」に加えて、プラスチック資源循環法により「製品プラスチック」のリサイクルも進みつつあります。衣装ケースは、「多く出される箱大ごみ」の第4位(23区)であり、都内の排出量は年間の約60万個。プラスチック対策という点では外せない品類でありながら、「資源包装プラ」「製品プラ」のどちらからも漏れてしまっています。



衣装ケースのリサイクルが始まっています!

リサイクル事業者と都内自治体による2年間にわたる実証実験を経て、今年からリサイクル事業者が自治体から衣装ケースを買い取ってリサイクルする取組みを開始。従来から実施していた品川区・大田区・葛飾区・青柳市・国立市に加え、荒川区・練馬区・八王子市・小笠原市・東村山市・国分寺市の全11自治体で衣装ケースリサイクルの取組を行っています。(2024年11月現在)



第五次循環型社会形成推進基本計画 ～循環経済を国家戦略に～ 概要

循環型社会形成推進基本計画
～循環経済を国家戦略に～

令和6年4月

5.2.1. プラスチック・廃油

- プラスチック資源循環戦略やプラスチック資源循環促進法に基づき、廃プラスチックの発生抑制・再使用・分別回収の推進を最大限に進める。具体的には、設計・製造の段階で、業界団体等と連携して製品分野ごとの設計の標準化や設計のガイドライン等の整備を進める。販売・提供段階では、提供事業者（小売・サービス事業者等）における判断基準に基づく過剰提供の抑制等の取組の合理化の取組を促進する。排出・回収・リサイクルの段階では、**市町村等による再商品化の取組並びに事業者による自主回収、再資源化及び排出の抑制の取組を促進する。特に分別回収に関しては、製品プラスチックを回収する地方公共団体の着実な増加や、拠点回収も含めた自主回収等”の取組の多様化を通じて、プラスチック資源の回収量の増大を図る。また、排出された廃プラスチックについては、マテリアルリサイクル及び焼却型ケミカルリサイクルで高付加価値の取組を行い、焼却・最終処分される量を大幅に削減する。**
- 「再掲」プラスチック資源循環促進法は、令和9年度に施行状況について検討を行い、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとしている。それに向けて課題を整理し、プラスチック汚染対策委員会の策定に向けた政府関係者委員会（EM）での交渉結果も踏まえながら、必要な対応を行う。
- 持続可能性を前提にライフサイクル全体を通じた環境負荷の影響を考慮しつつ、再生材や再生可能資源（紙、バイオマスプラスチック等）の普及を促進し、新規投入される化石資源由来プラスチックの削減を進める。また、生分解性プラスチックは、バイオプラスチック導入ロードマップを参照しながら、分解性の評価を通じた適切な発酵環境やリサイクル調和性を考慮し、開発・導入を進める。また、海洋生分解性プラスチックについては、「海洋生分解性プラスチック開発・導入普及ロードマップ」（令和元年月経済産業省策定）に基づき、その導入・普及を促進する。
- 省CO₂化に向けて、廃棄物等バイオマスを用いた省CO₂型ジェット燃料の原

※ペットボトルキャップや**衣装ケース**のような単一素材の製品ごとに回収しリサイクルすることで、回収量の増大に加えて質の高い高度なリサイクルにも繋がる。

ペットボトルキャップや**衣装ケース**のような単一素材の製品ごとに回収しリサイクルすることで、回収量の増大に加えて質の高い高度なリサイクルにも繋がる。

区市町村との連携による環境政策加速化事業

【事業方針（令和6年4月策定）】

＜メニュー＞

プラスチックの持続可能な利用推進事業

＜目的＞

使い捨てプラスチックの大幅なリデュース・リユースや、バーゲン資源と同等の価値に高付加価値のリサイクルに関する取組を推進する。

＜趣旨の事業目標（2030年目標）＞

【東京都環境基本計画】

・家庭と大規模オフィスビルからのプラスチック削減（2017年度比）40%削減

＜補助事業の内容＞（以下のア及びイを実施する場合に補助対象とする。）

ア プラスチックの持続可能な利用推進のための取組であって、次の(イ)又は(ロ)のいずれかを満たすものを実施すること。ただし、補助対象は新規事業及び既存事業の拡充に限る。

(イ) 使い捨てプラスチックをリユース資源に切り替えるための次の①又は②のいずれかの取組。

- ① 事業者等に対し、リユース資源やカトラリーを貸し出す取組。
- ② 事業者等がリユース資源及びカトラリーの購入又は借入を行った際に、その購入又は借入費用を補助する取組。

(ロ) 区域内で排出されるプラスチックを、リユース又はリサイクルするための取組。ただし、容積削減リサイクル法及びプラスチック資源循環法に基づき、プラスチックの分別回収・再資源化を行う事業は除く。

イ 次の(ウ)から(エ)までの取組を全て実施すること。

- (ウ) アの取組の実施による実績の集計及び検証を行うこと。
- (エ) アの取組の内容に係る周知又は普及啓発を行うこと。
- (フ) アの取組について都内の他の区市町村等に対して周知するなど、事業の広域化に向けた取組を行うこと。

＜補助対象経費＞

上記補助事業の内容の実施に必要な経費のうち、報酬、賃金、雑費、旅費、業務費、役員費、委託料、使用料及び賃借料、工事費、印刷費、公報費、広報費、備品購入費並びに負担金補助及び交付金

【補助対象経費の上乗率】

・1区市町村等あたり10,000千円を上乗率とする。

＜補助対象期間＞

・原則として、令和6年度（2026年度）までの事業期間を設定すること。

遠慮なくご連絡ください！

資源循環推進部 計画課 岩崎・内芝
03-5388-3593

事業内容と事業イメージ

